



# 橋戸

令和8年1月30日  
学校だより 第10号  
練馬区立橋戸小学校  
校長 青木俊一

## 「豊かな心」を育む

校長 青木俊一

暦の上では間もなく「立春」ですが、寒さは今が一番の厳しさのようです。今週からなわとび週間が始まり、子供たちは寒風に負けず元気に取り組んでいます。

さて、来る2月14日（土）、本校では「道徳授業地区公開講座」を開催いたします。当日は全学級において「特別の教科 道徳」の授業を公開いたします。

道徳が「特別の教科」となって数年が経ちますが、その核心は「答えが一つではない問い」に対して、各々が自分の事として捉え、他者対話し、よりよく生きるための基盤を育むことにあります。資料を通して、登場人物の葛藤に共感したり、自分と異なる友達の意見に触れたりする中で、子供たちの心には新しい気付きの種が蒔かれます。ぜひ、お子様が一生懸命に考え、迷い、言葉を紡ごうとする姿を直接ご覧いただければ幸いです。

そして、今年度は授業公開に並行して素敵なゲストをお招きした講演会を企画いたしました。東村山市を中心に活動されているボランティアの読み聞かせサークル「東村山うちでのこづち」の皆様です。「東村山うちでのこづち」の皆様は、長年にわたり子供たちに「物語の楽しさ」を届けてくださっています。その活動内容は、絵本の読み聞かせにとどまらず、パネルシアター、紙芝居、エプロンシアター、語り、さらには五感を刺激するパフォーマンスなど多岐にわたります。デジタル化が進み、視覚的な情報が溢れる現代だからこそ、「肉声」を通して語られる物語に耳を澄ませる時間は、子供たちの想像力を豊かにし、情操を育む上でかけがえのない価値を生み出すはずです。言葉の一つ一つが、子供たちの心にある「うちでのこづち」を振り、豊かな感情や新しい世界を導き出してくれることでしょう。

今回の講演会は、児童はもちろん、保護者の皆様、そして地域の皆様にもぜひ参観していただきたい内容です。「親切・思いやり」「友情・信頼」「生命の尊さ」などの公開授業の内容項目に重なるテーマで構成していただきます。物語を介して大人と子供が同じ感動を共有することは、家庭や地域における道徳教育の土台となります。読み聞かせやパフォーマンスを通じて、子供たちが何を感じ、どのような表情を見せるのか。その瞬間の輝きを、ぜひ共有していただきたいです。

道徳教育は学校だけで完結するものではありません。学校、家庭、そして地域が手を取り合い、子供たちの心の成長を支えていくことが重要です。14日の公開講座が、皆様とともに「豊かな心」について考える良き一日となりますよう、教職員一同、準備を進めてまいります。

当日は冷え込みも予想されますが、皆様のご来校を心よりお待ちしております。